

令和6年度 神戸市立魚崎中学校の教育方針

- ◎ 神戸の教育理念
「人は 人によって 人になる」
- ◎ 神戸の目指す人間像
「心豊かに
たくましく生きる人間」

- ◎ 神戸市教育大綱
7つの方針
→第4期神戸市教育振興基本計画へ

- ### 本校の特色
- 魚崎財産区をはじめ地域の諸団体が、子どもの教育に大変高い関心を持つとともに、具体的な支援を日常的に行っている校区である。
 - ほぼ1小1中の学校であり、小学校からの人間関係が固定しがちである一方、福池小の卒業生や校区外からの転入生も在籍することへの配慮が必要である。
 - 生徒の生活環境(経済環境・家族の状況)は非常に多様である。その困難さを抱えて通学する生徒も在籍している。
 - 現在、生徒たちは、教職員の指導の下、学習意欲も高く、真面目に学習に励んでいる。しかし、数年前には、非常に厳しい状況があったことを忘れてはならない。

- ### 魚崎中学校 校訓「自主・友愛・創造」
- ① 自主自立の心の育成と規則正しい生活習慣の確立 (自主)
 - ② 自ら興味を持ち学力を高められる資質の育成 (自主)
 - ③ 自他ともに大切にす。人権感覚の育成 (友愛)
 - ④ 震災の教訓を生かした防災教育・命の教育 (友愛)
 - ⑤ 体育と食育を通じた体力づくりの推進 (創造)
 - ⑥ 不易と流行を反映した教育の推進 (創造)

- ### 学校重点目標
- 「学ぶ心 支える心 強く優しい心
三つの心をはぐくむ魚っこ教育」
- ① 「学ぶ心」を育てる
 - ・学習指導は生徒指導の要…授業規律の確立
 - ・教師の指導力、授業力の向上
 - ・学力向上の組織的な取り組み
 - ② 「支える心」を育てる
 - ・ボランティア活動の充実
 - ・ハートプロジェクト、魚崎ジュニア防災チームの活性化
 - ・生徒、教師とともに地域行事に参加し地域の理解を深める
 - ③ 「強く優しい心」を育てる
 - ・学校行事、部活動の充実により心身の健全な成長を図る
 - ・安心、安全な学校行事と部活動の推進
 - ・礼儀、マナー、規範意識の育成
 - ・他学年との活動を通して社会性の育成
 - ・生徒とのふれあいの機会の充実推進

- ### 目指す学校
- 「学校満足度の向上」
- ・生徒、保護者、地域、教職員が誇れる魚崎中学校
 - ・生徒、保護者、教職員が「通って良かったと思える学校」「通わせて良かったと思える学校」を目指す
 - ・社会の規範が身につく学校
 - ・いじめ、不登校、生徒指導上の問題に素早く対応する学校
 - ・保護者と教員が手を携える学校
 - ・保護者が気兼ねなく相談できる学校
 - ・すべての生徒の能力を、開発、伸張する学校
 - ・生徒の「自尊感情」「自己肯定感」を育む学校

- ◎ 「明日につなげる
新・こうべ教育プラン」
- ### 基本政策1
- 心豊かにたくましく生きる
神戸の子供を育む
- ### 基本政策2
- 安全・安心で
楽しい学校を築き
地域と共に子供を支える

- ### 目指す教職員像
- ◎ 生徒にとっては「大人のモデル」
 - ◎ 生徒も保護者も納得する指導ができる教員
 - ◎ 生徒とのふれあいを大切にす教員
 - ◎ 生徒の小さな変化に「気づく」ことができる教員
- 《教師が変われば、生徒も変わる。
教師が伸びれば、生徒も伸びる》
- ・生徒のいるところに教員がいる
 - ・職員研修の充実
 - ・明るくあいさつとコミュニケーションの率先垂範
 - ・人権意識を高く持ち丁寧な言葉かけられる教員
 - ・学ぶことの面白さを全面的に生徒に伝える(教材研究を怠らない)教員
 - ・組織の一員としての自覚を持ち、学校運営に積極的に参画する教員
 - ・生徒の行動と判断の善悪をしっかりと見極め、指導を怠らない教員
 - ・豊かな人間性を高め教育理念の実現を目指し、自己研鑽に努める教員
 - ・法を守り規範を自ら実践する教員

- ### 何ができるようになるか
- 主体的に学習に取り組もうとする
- ① 学習したことや体験したことを生かす。
 - ② その場の状況に適した判断をして、課題の解決をしようとする。
 - ③ 他人の考えを傾聴することで、自分の考えをより深めることができる。
 - ④ 自分の考えや気持ちを、言葉や芸術、運動ICTなどを用いて的確に表現ができる。

- ### 資質・能力の育成
- #### 何が身についたか(生徒 教師)
- 学習評価方法と学習指導方法の改善
 - 生徒、教職員間のコミュニケーション
 - 学習の効率化 進んで学ぶ習慣
 - 業務の効率化
 - 新しい教育技術を取り入れる
 - 保護者との連携 教職員・学校への信頼
 - 学習したことを日常生活に生かす力
 - 他者との公正・公平・寛容な関わり
 - 自己肯定感
 - 学習に適した環境を実現する実践力
 - 防災スキル
 - 地域や社会の一員として関わろうとする態度
 - 自分の将来の展望を持ち、その実現のために頑張る態度
 - 健康・健全な生活に関する理解と実践

- ### 生徒の発達をどのように支援するか
- 特別支援教育の知見を活かした学習活動
自校通級教室(OS教室)の運営
 - 生徒の自主的活動を促す活動を進める
一方通行な授業ではなく、班活動や対話へ生徒自らが目標や課題を設定する
 - 感動体験を通して自尊感情の向上を
学校行事、生徒会活動、学年行事
 - 担当教員⇔CS⇔OS⇔SC⇔関係機関の連携
 - 命の教育を推進し、豊かな心を育む
健康教育 道徳 人権教育 食育 保育

- ### 何を学ぶか
- ① 様々な活動を通して、言語能力、情報活用能力、表現力 の育成
 - ② 各教科、道徳の学習、ボランティア活動などを通して、自分と他人とのかわり、社会と関わる力を育成
 - ③ 各教科の見方・考え方を働かせて「問題発見・解決能力」を育成する

- ### どのように学ぶか
- 生徒の特性に応じた学習指導の展開
「学習のねらい」や「いまここ」の明示
 - 対話的な学びを取り入れた授業展開
 - ICTや図書室を活用した授業展開
様々なアプリの活用 電子黒板
デジタルドリル 図書室の活発な利用
生徒用端末の効果・効率的な使用法開発
 - 地域の教育力を活用する
防災ジュニア トライやる・ウィーク ハートプロジェクト まちかど探検 幼保小中連携

- ### 実施するために何が必要か ☆指導体制の充実 家庭・地域との連携・協働
- 健全育成と危機管理能力の向上(生徒のいるところに教員がいる) ○ 安全配慮義務を常に念頭に ○ 情報セキュリティポリシーの励行
 - 組織的な対応と確実な「報告・連絡・相談」 学年→生徒指導担当 学年→管理職 問題・困りごとを一人で抱えない
 - 生徒の自主的活動により規範意識や帰属意識を育てる 教職員のマネジメント力の向上(学級 学年 部活動 委員・係活動 職員室)
 - 家庭との連携の強化…家庭の教育力 PTAとの連携 家庭学習の手引き
 - 地域資源の積極的活用(学校運営協議会 防災福祉コミュニティ 財産区 自治会 地域の事業所 幼小中連携 ゲストティーチャー 大学)
 - 日々のコミュニケーション 「チーム魚崎」の意識 それぞれの専門性や得意を生かして認め合う、若手が育つ職場づくり
 - 学校からの積極的な情報発信(ホームページ 学校だよりや各種たより「すぐる」の発信)
 - 近隣中学校や接続学校園との連携・情報交換 神戸市教育委員会への相談、指導助言
 - スクールサポーター 学習支援員 サポートルーム支援員 部活動外部顧問 等の活用
 - 環境整備 「日々の小さな気づきを大切に」 学校備品の管理 中学校給食の喫食率向上
 - 教職員の業務と活動の効率化と標準化(働き方改革)